

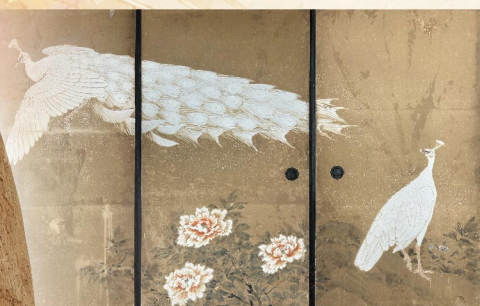
都城歴史資料館収蔵資料展

遺のこされてきたもの

「守り継ぐ文化財」



千足神社男神像(資料館寄託)



▲大野重幸 模絵(表)



千足神社女神像(資料館寄託)

令和8年 10月10日(土) - 令和9年 1月17日(日)

前期／10月10日(土)～11月15日(日)

後期／11月18日(水)～ 1月17日(日)

※展示替え・展示環境整理期間／11月17日(火)

会場 都城歴史資料館 1階／資料展示室(1)
〒885-0083 都城市都島町803 TEL 0986-25-8011

開館時間
9:30～17:00
(ただし、入館は16:30まで)

休館日
毎週月曜日休館
(国民の祝日または振替休日の時は翌日休館)

入館料
大人…220円(160円)
高校生…160円(110円)
小・中学生…110円(50円)
※()内は、20名以上の団体料金



特別展
特設ページ



文化財
ホームページ



都城歴史資料館
ホームページ



都城歴史資料館
公式 Instagram



問合せ先▶ 都城市教育委員会文化財課 ☎0986-23-9547

のこ 遺されてきたモノ

～守り継ぐ文化財～



本展示会は、都城市に^{のこ}遺されてきた地域の宝のうち、展示の機会に恵まれなかった資料や修理・修復を経て公開可能となった資料、近年寄贈された資料に光を当て、「現在」に^い遺されてきた「文化財」の活用と公開を図るものです。
「現在」へと受け継がれてきた「文化財」を次世代へ伝えるため、歴史資料が現代においてどのような修理・修復を経てその姿を維持しているのかについてご紹介します。

永久不変の「モノ」はこの世にはありません。文化財も、古来より「美しさ」や「貴重さ」を損なわないように工夫しながら保管されてきました。

しかし、時を経て自然と劣化していくのも事実です。また材質によって、虫やカビなどによる食害被害や汚損にも対応しなければなりません。それらの被害を防ぐため、守るべき文化財の材質・性質に応じて様々な対応をしてきた記録・軌跡などが日本には遺されています。それが「修理・修復」と言われる技術で、数百年または千数百年も受け継がれ遺されてきた文化財を後世に伝えていくための手法の一つです。

本展示会では、それらの技術によってより長く後世に継承されている資料も公開します。



都城市消防団旗



大野重幸「無」



せだらし
千足神社女神像

千足神社神像 修復前後

肘部背面左



むしくい
虫蝕部への
くくろうし
木屎漆充填状況



処置後

像底後部



虫蝕部へ木屎漆充填



処置後

会場

都城歴史資料館 1階／資料展示室(1)
〒885-0083 都城市都島町803 TEL 0986-25-8011

開館時間

9:30～17:00

(ただし、入館は16:30まで)

休館日

毎週月曜日休館

(国民の祝日または振替休日の時は翌日休館)

問合せ先 ▶ 都城市教育委員会文化財課 ☎0986-23-9547



特別展
特設ページ



文化財課
ホームページ



都城歴史資料館
ホームページ



都城歴史資料館
公式 Instagram

